

6年 図工 評価基準

学期	月	題材	時数	評価規準	
1 学期	4月	カット、ペタッととすてきな形 (切り絵)	7	知識	切り絵をつくりながら、形や色、重なり、画面構成など造形的な特徴を理解している。
				技能	カッターやのりを適切に扱い、自分の思いに合わせて切り方や貼り方を工夫して表している。
				発想・構想	切った色画用紙の形や色を見たことから表したいものを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑賞	自分たちの作品の形や色のよさを感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。
	5月	春江アート四天王 (展覧会共同作品個人アイデア出し)	2	知識	イメージに合った、色、形、その組み合わせ、柔らかさ、硬さ、奥行きを理解している。
				技能	評価せず
				発想・構想	スローガンの言葉をもとに、展覧会を見守るアートのキャラクターを思いついている。
				鑑賞	評価せず
	6月 7月	感じたままに花 (写生画)	9	知識	花の絵を描きながら、形や色、重なり、バランスなど造形的な特徴を理解している。
				技能	水彩絵の具を適切に扱い、自分の思いに合わせて工夫して表すこと。
				発想・構想	花を見たことや有名絵画を鑑賞したことを基に表したい絵を思いつき、どのように描くか考えている。
				鑑賞	①花の絵の有名絵画を鑑賞し、形や色のよさを感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。 ②自分たちの作品の形や色のよさを感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。
7月	使って楽しい焼き物 (成形)	2	知識	陶芸作品づくりを通して、形や色、形や動き、バランスなど造形的な特徴を理解していること。	
			技能	陶芸用粘土の扱いに慣れ、手や用具を工夫して使いながら表している。	
			発想・構想	評価せず	
			鑑賞	評価せず	
2 学期	9月 10月	12年後のわたし (粘土立位作品)	10	知識	ねんどで自分やまわりの様子をつくる活動を通して、動き、形や色のバランスなど造形的な特徴を理解している。
				技能	①軽量紙ねんど、絵の具、手などを適切に扱い、思いに合わせて工夫してつくっている。 ②今まで経験した用具や材料を総合的に扱い、イメージに合わせて工夫して表すこと。
				発想・構想	将来の自分について想像したことから表したいものを思いつき、どのようにつくるか考えている。
				鑑賞	自分たちの作品の形や色のよさを感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。
	11月	春江アート四天王 (展覧会共同作品色塗り)	2	知識	評価せず
				技能	絵の具や筆の扱い方を工夫して巨大な絵への表し方を工夫している。
				発想・構想	評価せず
				鑑賞	協力してつくった作品を見ながら、表現の良さや表し方の工夫に気づき、自分の見方を広げている。
	12月	課題解決未来プロジェクト	8	知識	段ボールや粘土の工作を通して、形や色、形や動き、バランスなど造形的な特徴を理解している。
				技能	既習内容を生かしながら、総合的に表し方を工夫して表現している。
				発想・構想	自分の生活の中から使いたいものをもとに表したいものを思いつき、どのような形や色、飾りにするかを考えている。
				鑑賞	自分たちの作品の形や色のよさや面白さ、表し方の工夫を感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。
3 学期	1月 2月 3月	わたしはデザイナー (木工作)	10	知識	木工作品をつくる活動を通して、形や色、バランス、丈夫さ、材質感など造形的な特徴を理解している。
				技能	①切断：のこぎりや電動糸鋸を適切に扱い、自分の計画に合わせて板を工夫して切ろうとしている。②組み立て：部品加工、やすりがけ、釘とボンドでの接着を適切な行い、思いに合わせて工夫して丈夫に組み立てている。③木工用塗料を適切に扱い、思いに合わせて工夫して色を塗っている。
				発想・構想	整理して片付けたいものの収納方法を考えること基につくりたい文具入れを思いつき、つくるかか考えている。
				鑑賞	自分たちの作品の形や色のよさや面白さ、表し方の工夫を感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。
主体性	木工作品をつくる喜びを味わい、進んで表す学習活動に取り組もうとしている。				

合計

50